

索引 番号	調査項目 製品名 用途別	生 産				其 の 他	
		青 銅 鑄 物		黄 銅 鑄 物		重 量 kg	金 額 (千円)
		重 量 kg	金 額 (千円)	重 量 kg	金 額 (千円)		
	銅 合 金 鑄 物	16,233	5,724	853	1,214	200	60
01	産業機械器具用	2,333	698	300	90	200	60
02	電氣及通信機器用	5,405	2,045	—	—	—	—
03	鉄道及車輛用	579	240	250	75	—	—
05	軸受メタル	1,897	574	100	30	—	—
06	管継手	500	150	—	—	—	—
07	バルブ	5,539	2,017	2,903	929	—	—
10	其の他	—	—	300	90	—	—

製 品 名	工 場 数		月 間 生 産 高		
	對 象	操 業	重 量 kg	前 月 100對比	金 額 (千円)
銅 合 金 鑄 物	8	8	17,286	89	6,998

※ 本表の工場数は次の定義に基いたものである。 鉄鋼鑄物については従業員10名以上 銅合金鑄物については従業員5名以上を有する工場が調査対象となつている。

## 會 議

### 茨城県調査統計連絡協議會開催

三月二十七日 水戸市南三の丸

1950年センサス記念統計館に

調査統計事務の重要性にかんがみ、調査統計機構をもつ関係機関相互間の積極的連絡を密にして業務の進展を図るための第五回連絡協議會は、午前十時から午後二時まで次のメンバーの出席によつて開催され、非常に有意義に終始した。

出席者名 (順序不同、敬稱略)	
茨城統計調査事務所統計課	藤山 正清
茨城地方監察局總務課	長山 恒衛
茨城労働基準局給與課	加藤 佳衛
茨城食糧事務所調査課	黒澤 仁
茨城県連合商工会議所業務部	安田 康
關東財務局水戸財務部主計課	中山 政博
國警防犯統計課	大場 敬信
常陽銀行本店業務部	長須 勝郎
東京電力茨城支店總務課	桜井 清
日本専売公社水戸地方局庶務課	澤田 裕
日本銀行水戸出張所	中崎 正吉
日立製作所日立工場調査課	綿引 秀夫
水戸測候所業務課	永井 英一
水戸地方裁判所總務課	酒井 正吉
水戸家庭裁判所總務課	海老根 道雄
水戸郵便局會計課	鈴木 秀二
保安隊勝田駐屯地部隊調査班	稻川 啓章
水戸第一高等学校	土田 直也
水戸農業高等学校	神原 誠
水戸工業高等学校	八木 政之
水戸商業高等学校	小林 秋
茨城高等學校	篠田 宣
常磐女子高等学校	横山 俊珠
大成女子高等学校	福田 宣
行政管理局統計基準部基準課長	渡辺 太
総務部調査課長	神野 三男
	日野 四郎
	村田 眞道
	山田 守
	森島 忠藏

## 座 談

課長 本日は御多用のところ御參會をいただきましてありがとうございます。細田総務部長がどうし

ても都合がつかみませんので、皆様方にくれぐれもよろしくとの事でございます。今回は研修も一緒に行うことといたしましたので、統計基準部より

は日野基準課長をお迎えいたしましてお話をお伺いいたすことになっておりますので、あらかじめお含みをいただきたいと存じます。

それでは唯今より御意見をお伺いいたしたいと思っておりますが便宜上私が座長の席につかせていただきます。

### 縣勢要覽について

**課長** お手許におくばり致しました県勢要覽につきまして御意見をお伺いいたしたいと思っております。

その前に私共の苦勞と申しますか予算の関係で紙数が思うようになりませんので折角御提供いただきました資料が全部掲載出来なかつたことをお詫び申し上げます。

**一同** 非常によく出来ております。これがあるのでわれわれは事務をとる上に非常に参考となります。要覽としてはこの程度でやむを得ないのではないでせうか。

**課長** おほめをいただいて恐縮です。今後更によりよく改善いたしてまいりませう。きたんのない御意見をどうぞ。

**日野課長** 統計基準部がかつて全国の府県統計書の統一をはかるうとしたことがあります。そのねらいは地方の特色を出すのには國と比較が出来るもの、県民所得が推計出来るものというまことに慾張つたものでありましたが現在では餘り採用されていないようです。然し統計は比較ということが出来てはじめて価値があるものですから、隣県とか全國との比較は考えなければならぬのではないかと考えます。拜見してみますと茨城県のはよくまとまっております。

**長須** 全國比較ということは大切なことでありまして、私の方の犯罪統計も全國統一して数字が出せるようにしたいと思っております。

**中山** 具体的なものがほしいのですが、要覽にそれをのぞむのは無理かも知れません。それにわかり易く説明をつけていただければなおよいと思っております。

**福田** 比率を出すようにしていただくと利用し易いのですが

**永井** 図表等を澤山のせていただきたい。順序配列等についても一定したらよいと思う。また例えば人口の欄で女性対比と男性対比とあり不統一であるからどちらかに一定すべきだと思っております。配付先と部数はどんなようですか。

**課長** いろいろと御意見をお伺いしましたが大いに参考となりました。順序様式等は成るべく整いたいと思っております。圖表も予算の許す限り多くのせたい。部数ですが各行政機関、都道府県、それに協議会等に配付する程度しか印刷が出来ませんので各方面からの強い希望もありますので、統計協会で増刷して実費領布する方法も考えております。その外御意見いかがでせうか

**海老根** 要覽としてはこの程度がよいのではないでせうか。

**加藤** 利用者の範囲が廣いので概況を把握できる程度で充分だと思っております。慾を言えば金融関係のことをのせていただきたい。又特殊な字句については簡単な説明をつけていただきたい

**澤田** 私の方の数字は25年のものがのつていますが26年ののをのせていただければよかつたと思っております。

もつとも私の方で資料提出のときに間に合はなかつたのかとも思いますが

**綿引** 私の方でも東電さんのようにもう少し新しいものをのせればよかつたと思われませんが、本年はよい資料を今から準備して提出して掲載していただきます。

**一木** この要覽にのつている数字の正確さはどの程度でせうか。

**櫻井** 町村別とか細かい點は要覽では充分わかりませんがなんとか細かい所もわかるような方法があればと思っております。

**山中** 私の方では随分細心の注意を払っておりますが出来たのをみますと落ちていた所の多いのに驚きます。今後一層留意いたしますが皆様もよろしく願ひいたします。

**課長** 先程日銀の方から掲載されている数字の正確さはどの程度かという御質問でしたが、私の方としては自信のあるものをのせております。出来るだけ新しい物をのせたいと努力しております。要覽についてはこの位にいたしまして、次は調査時報にうつりたいと思っております。

### 調査時報について

**課長** 先程常陽銀行の方から細かい所はどうすればよいかというお話がありましたが、都道府県市町村の行政又は工場会社等で実際に数字を使つて事業をおこす、行政の企画をたてるという場合には要覽ではかゆい所に手が届かない面があります

のでお手許にお配りいたしました調査時報をつくつたわけです。これには調査の結果をできるだけ迅速に詳細にのせる考です。発刊の趣旨は巻頭の細田総務部長さんの御挨拶にありますので御覧をいただければ結構です。

**加藤** 編集方法について定期的な調査のみをのせるのか、項目別に連続させて行くのか又頁数の割振りなどはどのようでしょうか。

**課長** 編集方法については今のところわくをつくっておりません。臨機応変に有効適切な資料をのせて編集をうまくやりたいと思います。継続的にのせるものとして目下考えておりますのは、経済統計毎月人口、毎月勤労等の基本的なもので直ちに利用できるものを考えております。頁数は32頁です。

**小神野** 近着書の紹介がありますが、この本はみせていただけますか。学校まで配布願えませうか。非常に参考になると思いますので

**山中** 配付対象は市町村を中心しておりますが一般からの希望があれば統計協会で増刷して実費頒布してもよいと考えます。一部50円程度ではいかがでしょうか。

**綿引** こんな有効なそして苦勞してつくつた貴重な資料がのつているこの本がそんな価格では無理でせう。欠損になりますよ（一同同感）

**福田** 高校では非常に参考になります。中学の先生方にも参考になるでせう。

**一木** 県内の輸出産業についての資料ものせていただきたいと思います。興味をひくようなものをのせるのがよいと思う。そしてその表現もできれば一目みてわかるように

**永井** 各業界でも希望があると思う。私の方では早速利用させていただきます。

**櫻井** 発行がおくれば利用価値がうすくなるから早く出してほしいですね楽しみにまつております。

**課長** いろいろと参考になる御意見まことにありがとうございました。御期待にそうようつとめたいと思いますから御協力をお願いいたします。まことにありがとうございました。

## 「研 修」

### 現下の統計界における課題について

唯今村田課長さんより御紹介をいただきました日野でございます。まづこの機会に日頃御世話に

なつている皆様方にお礼を申し上げます。

さて皆様御承知のように立派な統計をつくるためには統計作成者と利用者との間の緊密な連絡が必要であり、これには利用者である國民各位の理解ある協力が必要であるということは、今更私が申し上げるまでもないところでありますが、このような組織の必要性に着目していはやく協議会を結成し統計活動の向上をはかりつつあるということは各位の進歩的意志結合のあらわれであり、統計基準部といたしましてもよろこびといたすところであり又意を強くするとともに協議会の將來に対して深く注目するところであります。

このような組織をつくり運営してゆくことは仰々困難なことではありますが、承れば五回目の会合であるとのことで、深い関心をもつている統計基準部として本日この会合に臨席出来ましたことに對し厚くお礼申し上げ私の挨拶といたします。

さて目下の統計界において課題になつております二三の問題につきましてお話をしてみたいと思います。統計というものは人間の經濟文化活動全般にわたる慾の深いものでありますのであまりくわしい話は出来ませんが、第一に統計を国がつくる場合の組織の問題についてでありますがつとも正確にかつ費用を出来るだけ少くして統計をつくるにはどうしたらよいかということでありましたが、これは世界の問題でもありまして、先般オツタワで開かれた國際統計會議には我が国からも美濃部統計基準部長が出席したのでありますが、統計機関はいかにあるべきか中央機関のみでよいか地方に分散させるべきかというようなことが検討されたのであります。國のつくる統計と府県市町村のつくる統計はどうあるべきか、経費の負担について國と府県市町村との関係等が問題となつたのであります。よりよい組織をもつことが大切でありますので日本におきましても統計審議會が慎重に検討を致しております。

次に本年度実施される統計調査について新しいものだけを申し上げますと、八月一日に住宅調査これは統計局が主管して実施します。來年一月に漁業センサス、それから商業動態調査教員需給調査などがあります。この外各県独自の調査が行なわれるわけであります。

三番目に統計基準の問題について申し上げます。現在統計界で大きな問題となつているものに地域分類の問題があります。統計書を見るとほと

んどすべてが行政区劃によつていますがそれが果して市部又は農村の動きを表現しているかどうか人口動態等についても例えば日立市だけのものでよいかその周辺の町村をあわせて考える方がもつと明確なものがえられるのではないか、このような観点から従來の行政区劃によらない新しい地域分類による表現がよいのではないかということが三月の統計審議會でとりあげられたのであります。これについては本年上半期中に統計局が主管で実施することと思うからその際は御協力をいたさきたいと思います。

四番目に申し上げたいことは商品分類についてであります。経済分析上からみて生産財と消費財又は耐久財と非耐久財とにわけざるべきだということもいわれているが、景氣指標をみるには商品別にみる以外に生産財とか耐久財とかに分けてみる方が正しい結果ができるのではないかと思います。

次に現在經濟審議廳で国民所得の推計計算を行つておりますが、これは國の施策に役立つております。特に再軍備の問題、國民厚生等について何パーセントというようにみられており非常に利用価値がたかいのであります。

この外特に目立つたものとしてはある産業の各産業への影響の波及狀況というものを推計計算しておりますが、これは計算機械の集中等を必要とするので非常に困難なものとなつております。

市場調査をなさる場合はまづそれについての既存の官庁統計資料を利用するというようにしていただきたいと思ひます。サンプリングでは万能ではないから反省してゆこうというようなことも問題にされております。

課長 本県でも現在昭和二十六年分の県民所得の推計計算を行つており近く公表できると思ひます。  
(速記主事森島忠藏)

# 人口

## 三月末現在の本縣の人口は？ 毎月人口世帯移動調査結果から 総務部調査課人口調査係

1 毎月人口世帯移動調査2月分との比較表

区分	世帯數	人口數			移 動							
		總數	男	女	縣 外				縣 内			
					縣外 移入	縣外 移出	縣内(市町村間) 移入	縣内(市町村間) 移出	出生	死亡	引揚及 び復讐	其(乘船・下船・ 長期旅行等)
2月末	379,136	2,054,447	1,001,062	1,053,385	3,336	3,789	2,329	3,920	4,032	2,265	2	174
3月末	378,752	2,051,749	999,479	1,052,270	3,457	7,358	4,743	6,225	4,462	1,870	28	65
差	-384	-2,698	-1,583	-1,115	-121	3,569	2,414	2,305	430	-395	26	-109

2 郡市別世帯數及び人口男、女別

區分 郡市名	世帯數	人 口 數			區分 郡市名	世帯數	人 口 數		
		總 數	男	女			總 數	男	女
總 數	378,752	2,051,749	999,479	1,052,270	多 賀	28,894	146,722	73,769	72,953
水 戸	18,778	82,340	39,295	43,045	多 賀	21,496	126,217	61,403	64,814
立 川	12,994	60,854	30,357	30,497	多 賀	14,010	80,969	39,332	41,637
土 浦	13,976	63,244	30,742	32,502	多 賀	26,272	143,732	70,036	73,696
古 河	6,513	32,264	15,064	17,200	多 賀	24,503	133,470	65,152	68,318
市 計	52,261	238,702	115,458	123,244	多 賀	17,597	101,416	49,569	51,847
東 茨 城	29,756	158,752	77,342	81,410	多 賀	28,405	162,427	78,720	83,707
西 茨 城	17,542	96,003	46,669	49,334	多 賀	23,283	135,829	65,591	70,238
那 珂	33,448	180,593	88,049	92,544	多 賀	20,566	126,817	61,392	65,425
久 慈	28,142	150,213	73,245	76,968	多 賀	12,577	69,887	33,752	36,135
					郡 計	326,491	1,813,047	884,021	929,026